

事業所名

児童デイサービス ぶれお

支援プログラム

作成日

6 年

9 月

1 日

法人（事業所）理念		一人一人が豊かな人生を歩むための支援をします。							
支援方針		利用者（児）とその家族及び地域で生活する人々が共に地域で生活できる環境や支援体制を築くことを目指します。							
営業時間		9 時	分まで	18 時	分まで	送迎実施の有無	○あり	なし	送迎範囲あり
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	○基本的な生活スキルの獲得：食事、排泄、睡眠、身だしなみなど、基本的技能を獲得できるよう、視覚的な提示で個々にわかりやすく行います。 ○構造化等による生活環境：安心して生活できるよう活動場所を区切るなど環境を工夫し、特性に応じた支援を行います。							
	運動・感覚	○基本的な技能の向上：姿勢・運動・動作の技能の向上として、粗大運動（エアロバイク・ロデオマシーン・各種アイテム使用）・微細運動(つまむ・まわす等)それぞれできる部分から始めていき、日々の活動の中でアセスメントしながら無理のないように行います。 ○感覚の特性への対応：聴覚や感覚過敏などそれぞれの感覚に対応し、イヤーマフや素材の工夫、また環境を調整していきます。							
	認知・行動	○一人一人の認知の特性に基づき、必要な情報が適切に伝わるよう個別療育の中でプリントなどを使用し支援を行います。物の大小、数、重さ、空間、時間等の概念を認知や行動の手がかりとして活用できるよう、個別課題や日々の活動の中で学ぶことができるように支援していきます。 ○一人一人の良い言動をピックアップし、視覚的な提示をしながら褒められる喜び、自己肯定感のアップ、良い行動の強化を目指していきます。							
	言語 コミュニケーション	○コミュニケーションの基礎的能力の向上や、手段の選択、状況に応じた言葉使い等をワークシートやコミック会話などで視覚的に伝え、状況の理解や正しい言葉使いを伝えていき、コミュニケーションの良さや重要性、伝えたいという意欲を支援していきます。（PECS・コミュニケーションカードなど、ご家族の了承を得たのち使用します）							
	人間関係 社会性	○活動の中で、感情の調整、他者とのかわり方や社会性を学んで行けるよう、少人数からのグループ学習の中でルールなどを守る場面を設定するなどし、実践を通して学んでいけるよう支援していきます。個別課題では、自分や相手の言動について振り返る時間を設け、トラブルがあった場合には次に同じようなことがあった場合にはどのようにしたら良いかをイラストやコミック会話などで視覚的に伝え寄り添った支援をしていきます。							
家族支援		ご家族の就労に対して延長療育を行います。またご家族(兄弟を含む)からのご相談には、家庭訪問や保護者面談などの時間を設け、情報共有や負担の軽減につながるよう支援していきます。			移行支援	卒業後の生活を見据えて、様々な福祉サービスについて情報提供を行います。卒業後の進路先への情報提供を必要に応じて引継ぎさせていただきます。			
地域支援・地域連携		各学校の先生と日々の子どもの状態を共有し、相談支援事業所など関係機関との連携を行います。			職員の質の向上	発達障害者支援センターあおいそらによるコンサルテーションを受け、日々の支援について勉強しています。法人研修・事業所内研修など定期的に研修が行っています。			
主な行事等		季節に合わせた活動を行っています。（七夕飾り作り・ハロウィン衣装・サンタからのプレゼント）長期休みには、夏場はベランダでの水遊び・流しソーメン・すいか割り・春・冬は調理活動・課外活動・買い物学習などを行っています。							